

「人権フェスタを終えて ～知る・考える・行動する～」

教頭 塩見 賢一

11月11日に人権フェスタを行いました。インフルエンザの流行により延期いたしましたが、多くの保護者の方に参観いただきました。ありがとうございました。当日は、人権弁論、生徒会企画の劇、各学年の発表、親子講演会の流れで人権について考える1日となりました。

その中で、生徒会のメンバーによる人権劇「転校生はロボット」は30分を超える大作でした。ロボットの転校生が学級でのいじめを苦にして最後は生きることを諦めてしまうという内容でした。

ロボットだから大切にしないではなく、すべての物（生物に関わらず八百万のもの）に慈しみの心を持つことが、ひいては自分を含めたみんなの命や人権を守ることにつながると改めて感じました。

以下、児童生徒の感想です。



- ・人をいじめたり、ロボットをいじめたりしたらだめだと思いました。なので、いじめを受けている人がいたら助けたいです。（6年生）
- ・人にはそれぞれできること・できないことがあってそれを認めながら生きていかないといけない。決して人の違うところをばかにしてはいけないと感じました。（7年生）
- ・「ロボットだから」のような「〇〇だから」という固定概念にとらわれて人をいじめることや、1つのことをきっかけにしていじめることは本当に良くないことだと思いました。（7年生）
- ・違っているから仲間外れにしたりするのではなく、違っているからこそ寄り添い、違いを認めていくことが大切だと思いました。また、最後のすさまじい迫力の演技から、いじめが与える被害の大きさがよく分かりました。（8年生）
- ・これを言えば嫌われるかもしれないという感情はあると思うけど、小さなことでは大切な人はそう簡単には離れていかないし、自分に正直になれば良いと思いました。（9年生）
- ・人と違うことで簡単に悪口やいじめをすることは、いろんな人が傷付くことになると思います。実際にいじめていた人たちの中にも「ダメだな」、「止めないとな」と思っていた人がいると思います。でも、それを言ったら自分もいじめられるかもしれないという不安があったと思います。でも、その中で私は「ダメ」とはっきりいえる勇気を持とうと思います。（9年生）

普段の子どもたちの様子を見てみると、授業中に隣や班の子が困っているとさっと手助けをしたり、休んでいる子がいるとそっと代わりにしてあげたりと、とても優しい心でなかまともふれあっている場面を多く目にします。これまでの人生で育んだこの温かい心をこれからも持ち続けつつ、さらに学びを深めることで様々な人権問題に向き合い乗り越える強い心を身につけて欲しいと願っています。

大阪万博「いのちの未来」館→



～授業づくり～

先般、二学期の集大成である期末テストが終了しました。日頃の学習の成果を発揮することができたでしょうか。

定期テストは自分自身と向き合い、今の実力を測る良い機会です。テストの点数だけに一喜一憂せず、苦手な科目や学習課題に対して逃げずに取り組むことができたか、一学期の姿や取り組みから少しでも進歩することができたかなど見つめ直すべき点はたくさんあります。高校受験や成績表を目の前にすると他者と比較し、合格や数字のみに囚われてしまい、「学び」の本質を見失ってしまいがちになります。本来、「学び」のベクトルは自ら向け、自己研鑽や自己実現のために一生涯をかけて取り組むべきものです。テストの結果を真摯に受け止め、学期末の三者懇談などの時間を有効活用し、三学期に向けて再出発していきましょう。

～文化づくり～

人権フェスタでは各学年代表による人権弁論、学年別の人権学習発表、生徒会による人権劇「転校生はロボット」を実施しました。

【人権弁論】

各学年の弁士達が自ら経験したことをきっかけに感じた人権問題や日常生活から考えたことなどを堂々と発表しました。また、児童生徒も自分事として捉えて一生懸命に発表を聞いていました。



【学年発表】



6年生の発表では、「発見」旅行を通して学んだ他者とよりよい関係づくりをテーマについて発表しました。7年生の発表では、今年度行われた大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く」から7年生が学校や地域でできることを発表しました。8年生では、トライやる・ウィークを通して感じた働く人の人権とこれからの社会について発表しました。9年生の発表では、世界の人権から学ぶをテーマに今起きている様々な人権問題について調べ、これから社会に出ていく自分達が大事にしていきたいことを発表しました。



～ゆたかな心づくり～

11月10日(月)に本校のスクールカウンセラーの海津先生によるストレスマネジメント講座が実施されました。6, 7年生、8, 9年生に分かれて「ストレスについて」、「睡眠の大切さ」、「感情のコントロール方法」、などをテーマにそれぞれの発達年齢に応じた内容でお話を聞きました。本校では毎年、この講座を実施しています。思春期の子どもたちのことを「疾風怒濤嵐と大波の時期」と表現されるそうです。イライラしたり、不安になったりするのは自分だけではなく、思春期の時期には誰にでもあることだということを感じる機会となりました。


また、困ったときは周りの大人や友人に相談することも大切であるということも伝えてもらいました。スクールカウンセラーの相談も、選択肢の1つと感じてもらえればと思います。保護者の方にもぜひカウンセリングを活用していただければと思います。

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの12月の勤務日は以下の通りです。

海津 SC 勤務日 12月 1日、 8日、 15日、 22日

安田 SSW 勤務日 12月 3日、 10日、 17日

よろしくお願いいたします。

<p>【12月および1月当初の主な行事予定】</p> <p>3日(水) 進路説明会(9年)</p> <p>5日(金) かわい音楽祭</p> <p>9日(火) 到達度テスト(678年生)</p> <p>11日(木) 児童生徒会選挙</p>	<p>12日(金) 到達度テスト(6年)</p> <p>15日(月) 三者懇談(～19日)</p> <p>18日(木) マラソン大会</p> <p>22日(月) 給食最終</p> <p>23日(火) 終業式</p> 	<p>1月 8日(木) 3学期始業式</p> <p>9日(金) 課題テスト(～13日)</p> <p>給食開始、身体測定</p>
--	---	--

